

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第27号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:石塚悟史

はじめに

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」

文部科学省では、平成25年度から「地(知)の拠点整備事業」を実施します。事業の目的は以下の通りです。

〈目的〉本事業は、自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、学内組織が有機的に連携し、「地域のための大学」として全学的に地域再生・活性化に取り組み、教育カリキュラム・教育組織の改革につなげるとともに、地域の課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)の効果的なマッチングによる地域の課題解決、更には自治体と大学が早い段階から協働して課題を共有しそれを踏まえた地域振興策の立案・実施まで視野に入れた取組を進める。

これにより、学生が大学での学びを通して地域の課題等の認識を深め、解決に向けて主体的に行動できる学生を育成するとともに、大学のガバナンス改革や各大学の強みを活かした大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学を形成する。

事業の詳細は文部科学省HPをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/

目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」採択

p3 産学官連携部門

Topic1. ビジネスチャンス拡大に！

～産学連携マッチングのための展示会出展者募集～

p4 知的財産部門

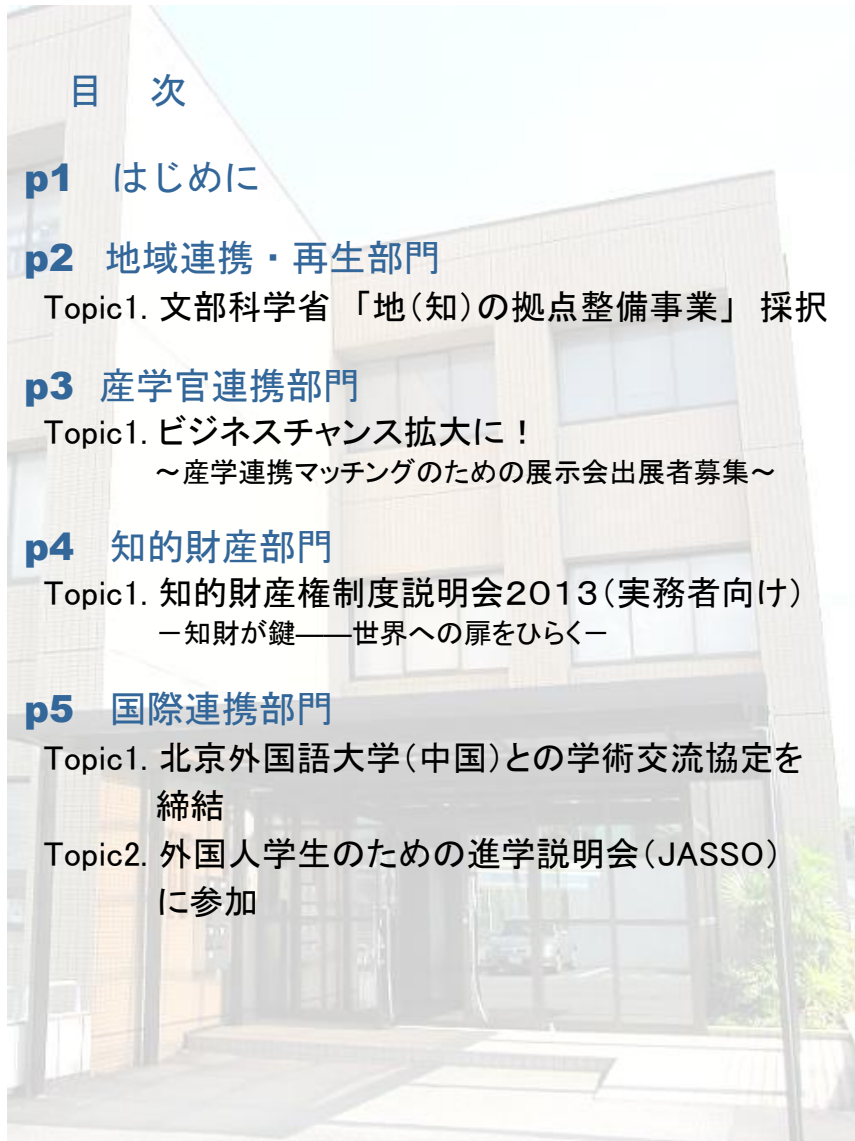
Topic1. 知的財産権制度説明会2013(実務者向け)

—知財が鍵—世界への扉をひらく—

p5 国際連携部門

Topic1. 北京外国語大学(中国)との学術交流協定を締結

Topic2. 外国人学生のための進学説明会(JASSO)に参加



Topic 1. 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」採択

文部科学省は平成 25 年 4 月から 5 月 23 日まで、「地(知)の拠点整備事業」を公募しておりました。「地(知)の拠点整備事業」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在(Center of Community : COC)としての大学の機能強化を図ることを目的としたものです。

全申請数は 319 件(342 大学・短期大学・高等専門学校)となり、全大学等の約 1/4 が申請したことになります。非常に注目され、競争率も高かった中、採択 52 件に高知大学も名を連ねました。

事業名称: 高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業

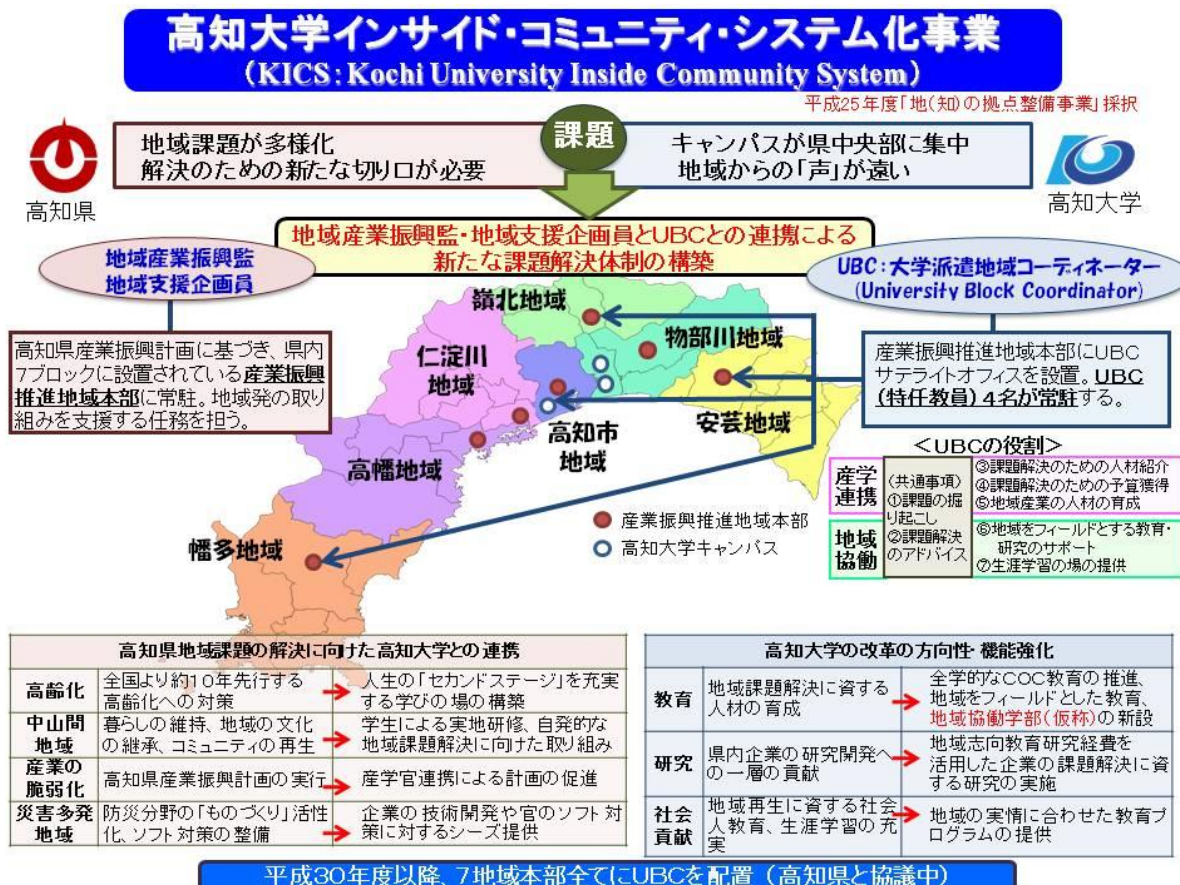
連携自治体: 高知県

事業期間: 5 年(予定)

高知県は少子高齢化や中山間問題、産業の脆弱化等、多くの課題を抱える課題先進県です。地域からの声に対し、高知県は県内を 7 ブロックに分け、各地に県庁職員である地域産業振興監や地域支援企画員を配置することで、地域発の取り組みを支援してきました。一方で、地域からの課題が多様性を増すに従い、県庁職員だけではなく多様な視点からの解決策が求められ始めています。

高知大学は、県内最大の総合大学として、地域の課題解決に貢献してきました。しかし、キャンパスが県中央部に集中していることから、遠隔地からの声が届きにくいという問題がありました。

これらを解決するため、高知大学は県内 7 ブロックにサテライトオフィスを設置し、大学派遣地域コーディネーター(University Block Coordinator : UBC)を常駐させ、地域産業振興監や地域支援企画員と共に活動する体制を構築します。UBC を核に大学が地域に深く入り込み、これまで解決が難しかった課題や実行に困難があった取り組みを、大学の資源を用いて支援します。この体制を「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)」と呼称しております。



Topic 1. ビジネスチャンス拡大に！

～産学連携マッチングのための展示会出展者募集～

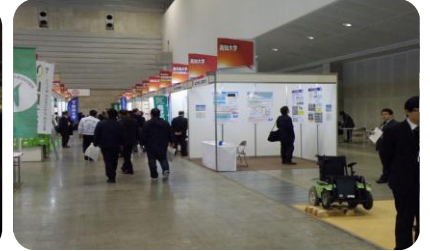


神奈川県内最大の工業技術・製品に関する総合見本市として、テクニカルショウヨコハマ 2014 が下記のとおり開催されます。

第 35 回目となる今回は、「未来につながる新たな技術」をテーマに、「ビジネスソリューション」、「生産（加工技術）」、「生産（機器・装置・製品）」、「環境・エネルギー／福祉」、「産学公・企業間ネットワーク」の 5 つの出展分野を設け、技術革新、商品開発、新市場の開拓に取り組んでいる皆さまに、独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品や研究成果を発信していただく場となります。

新技術・新製品発信の場、新規顧客獲得や具体的な商談の場、活発な技術交流や情報収集・交換の場として、ぜひとも「テクニカルショウ ヨコハマ 2014」にご出展くださいますようお願い申し上げます。

会期等：2014 年 2 月 5 日（水）～7 日（金） パシフィコ横浜

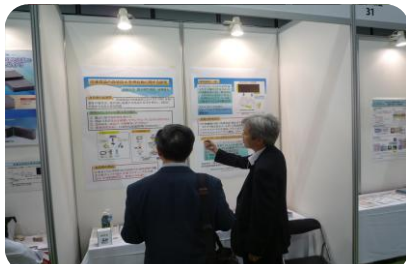
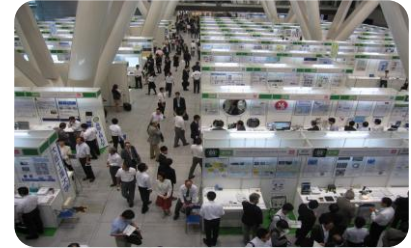


《出展決定済み、調整中の展示会》

・イノベーションジャパン 2013～大学見本市ビジネスマッチング～
我が国の産学連携を強力に推進するための、国内最大規模の産学マッチングの場

会期等：2013 年 8 月 29 日（木）～30 日（金） 東京ビッグサイト

出展：「陸上多段式タンク栽培による海藻の高効率生産技術」
黒潮圏科学部門 平岡雅規准教授



・第 3 回おおた研究・開発フェア

産学連携、産産連携、技術移転、新製品・新技術の PR を目的とした展示会

会期等：2013 年 10 月 3 日（木）・4 日（金） 大田区産業プラザ PiO

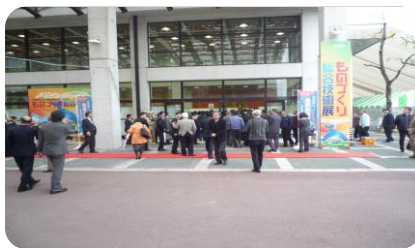
出展：「軽量建築材料や水上浄化材料のための廃ガラスの発泡中空球への変換技術の開発」 複合領域科学部門 柳澤和道教授

・アグリビジネス創出フェア 2013

農林水産・食品分野などの最新技術や研究成果を研究機関間、研究機関と事業者との連携を促す場としての「技術・交流展示会」

会期等：2013 年 10 月 23 日（水）～25 日（金） 東京ビッグサイト

出展：農学部



・第 2 回ものづくり総合技術展

高知県内の優れた技術や製品を広く周知し、「ものづくりの地産地消」や「地産外商」への理解と機運を高める場としての総合技術展

会期等：2013 年 11 月 21 日（木）～23 日（土） 高知ちばさんセンター

出展：「中小規模園芸施設を対象とした複合エコ環境制御技術」の開発状況の紹介 農学部 宮内樹代史准教授
その他

Topic1. 知的財産権制度説明会2013(実務者向け)

— 知財が鍵——世界への扉をひらく —

知的財産権の業務に携わっている実務者の方を対象に、制度の円滑な運用を図るため、実務上必要な知識の習得を目的とした実務者向け説明会が全国の主要都市で開催されます。本説明会では特許・意匠・商標の審査基準やその運用、審判制度の運用、国際出願制度(特許・商標)の概要や手続等について、特許庁職員が分かり易く解説します。

【高知市会場】

日時：平成25年10月7日(月) 9:30~17:40

会場：高知どばさんセンター(2階 研修室1) 高知市布師田 3992-2

定員：30名(事前申込制、定員になり次第締切)

講義内容：

9:30~12:00 意匠の審査基準及び審査の運用

13:00~14:30 商標の国際登録制度(マドリッド制度)について〔管理実務〕

14:40~17:40 特許の審査基準及び審査の運用

※参加申し込みはホームページより可能です。

http://www.jiii.or.jp/h25_jitsumusya/index.html?20130802

※四国地方の開催案内(チラシ)、FAX 申し込み用紙はこちらをご覧ください。

http://www.jiii.or.jp/h25_jitsumusya/pdf/16-19.pdf

※具体的な講義科目名、その他の講義内容等(全国)については、こちらからご確認ください。

http://www.jiii.or.jp/h25_jitsumusya/detail.html?20130802

お問合せ：知的財産権制度説明会(実務者向け)運営事務局

(一般社団法人発明推進協会 知的財産総合支援グループ 研修チーム)TEL:03-3502-5437

知的財産権制度説明会
2013 知財が鍵——世界への扉をひらく

実務者向け テキスト進呈・事前申込制

参加費 **無料**

Topic 1. 北京外国語大学(中国)との学術交流協定を締結

7月12日(金)、北京外国語大学にて、高知大学と北京外国語大学との間の学術交流協定書及び学生交流に関する覚書が交わされました。協定書の交換式には、本学からは菊地るみ子副学長および林翠芳准教授、北京外国語大学からは金莉副学長の他関係者らが出席しました。式の席では、両大学の紹介が行われるとともに、今後の交流の展望についても話されました。昨年の8月に菊地副学長が北京外国語大学を訪問したのをきっかけに、両大学の交流協定の調印に向けて、関係者の間で協議が行われ、このたび実を結びました。

今後は学生交流を中心とした交流が開始され、両大学の学術交流がますます活発化することが期待されます。



(学術交流協定書交換式の様子)



(関係者一同との集合写真)

Topic2. 外国人学生のための進学説明会(JASSO)に参加

日本学生支援機構(JASSO)主催の「外国人学生のための進学説明会」が7月14日(日)に東京、7月21日(日)に大阪で開催され、それぞれ教職員3名が参加しました。学部や大学院への進学希望の外国人学生に対して、本学の特色や入試等に関する最新の情報提供を行いました。

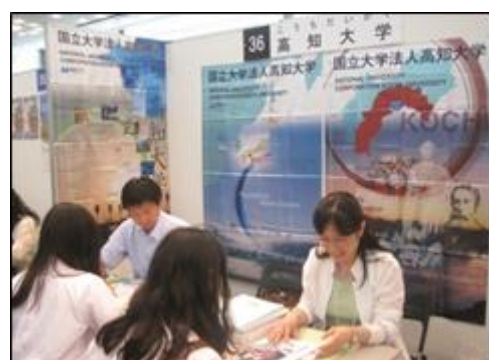
昨年度の本進学説明会の来場者の中から今年度5名の留学生が入学しており、広報の効果が期待されます。

(東京会場) 来場者：2,327名(昨年度：2,507名)、本学ブース訪問者：28名

(大阪会場) 来場者：1,095名(昨年度：1,350名)、本学ブース訪問者：39名



(東京会場での説明会)



(大阪会場での説明会)